

情報公開内容

1 課題名：CT ガイド下肺生検術後の気胸のフォローについて

1：本研究の目的

CT ガイド下肺生検における主な合併症として気胸があります。多くの方は生検時もしくは直後に生じますが、気胸が遅れて増悪することよく知られています。しかし、そのフォロー期間については議論の余地があります。当院では CT ガイド下生検時に気胸が生じた症例に対して 10 分後 CT を撮影しています。10 分後 CT での気胸の増悪の有無によって、その後に気胸の経過が予測できるかどうかを検討することが目的です。

2：本研究の対象

2016 年 1 月から 2023 年 3 月の間で高知大学医学部附属病院にて肺腫瘍に対して CT ガイド下生検を受けた患者様。

3：本研究の意義

肺腫瘍に対して CT ガイド下生検施行後の 10 分後 CT での気胸の増悪を正確に把握し検討することによって、生検 10 分後 CT の意義や気胸の経過の予測が可能になると思われます。

4：研究の方法

CT ガイド下生検の時に施行した CT や 10 分後 CT、生検 3 時間後と生検翌日以降のフォローの胸部レントゲン検査のデータなどを使用し、CT ガイド下生検後の気胸の評価を行います。10 分後 CT で気胸が軽度であり経過観察した症例と気胸が増悪し追加治療が必要であった症例を検討し、過去の文献と照らし合わせます。カルテを調べて調査することが主な調査方法です。

調査項目は、年齢や性別、腫瘍のサイズ、肺気腫の有無、生検に使用した針、気胸の程度(気胸を認めるスライス数や胸部レントゲンでの気胸のサイズ)です。

[研究期間は倫理委員会承認日～2030 年 3 月 31 日]

5：個人情報保護の方法

- (1) 対象患者さんのカルテ、画像に記載された個人情報はすべて匿名化した上で研究に使用します。
- (2) 学会誌や学会での発表等、調査結果を公表する際、個人情報は一切公表しません。
- (3) この研究で収集したすべての情報は、この研究の目的以外では使用いたしません。
- (4) データーは外部と独立したコンピューターで管理し、パスワードによるログイン機能の付加、コンピューターをセキュリティーの厳重な部屋に保管します。

(5) 収集した患者さんのデータは、研究公表後データはすべてコンピューター上から削除、書類はシュレッダー等で処理した上で廃棄します。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。

6：問い合わせ、苦情等の窓口の連絡先

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

高知大学医学部附属病院 放射線診断・IVR 学講座

研究責任者（担当者）：助教 柴田 純季

連絡先電話番号：088-880-2367